

令和4年国立市議会第1回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第1回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応についてですが、オミクロン株の流行による第6波では、国立市においても感染が急速に拡大し、1月1日から2月21日までの間で累計1,907名の方が新規患者となっています。

このことへの対応として、自宅療養支援室では1月4日から2月20日までの間で558件の対応をいたしました。引き続き、患者情報を東京都と共有し、医療面では国立市医師会及び市内訪問看護ステーションにご尽力をいただき、生活物資の面では市内スーパーマーケットに多大なるご協力をいただくとともに、全庁的な応援協力体制を構築し、物資についても滞りなく配送できております。

また、国立市医師会、訪問看護ステーション及び国立市薬剤師会と2回目の会議を設け、現状の情報共有及び今後の対応に向けた協議を行いました。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種状況についてですが、3回目の接種については2月21日現在、16,811人の方が接種を受けています。引き続き、希望される方に迅速に接種できるよう体制を確保してまいります。

東京都を対象としたまん延防止等重点措置の実施は3月6日までとされておりますが、様々な状況を注視しつつ、引き続き、コロナ禍において市民の命を守り、不安を軽減すべく市として対応してまいります。

それでは、12月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

人権施策についてですが、令和3年11月から令和4年1月までの3か月間、「くにたち人権月間2021」と題して、市内各所で人権イベントを開催してまいりました。

1月26日には人権サミットとして、3か月間の振り返りと共に様々な当事者の方からのメッセージをいただき、社会福祉法人^{おんし}恩賜財団済生会理事長であり、国立市人権・平和のまちづくり審議会会長の炭谷茂氏と私とで、今後の国立市の人権

施策の方向性について対談させていただきました。

3か月間のイベント参加総数は約2,000名を超える結果となりました。この間、各イベントにご参加いただいた皆様、そして企画、準備に携わっていただきました実行委員会の皆様にはこの場をお借りして御礼を申し上げます。

次に、「市長と語るタウンミーティング」についてですが、1月23日に国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザにて、「コロナ禍における女性」をテーマに開催いたしました。当日はコロナ禍により市の女性相談が増加している状況を参加者と共有し、女性に困難さが集中している現状について、ご参加いただいた13名の市民の皆様から貴重なご意見を伺いました。

いただきましたご意見につきましては、今後の女性支援施策の参考とさせていただきます。

次に、行政管理部関係です。

国立市特別職職員報酬等審議会についてですが、11月29日に、産業医の報酬額の見直し及び在宅療養専門指導医の報酬額について諮問し、3回の審議を経て、1月25日に答申をいただきました。

この答申を踏まえ、本定例会において条例案を提出しておりますので、ご審議のほどお願い申し上げます。

次に、国立市消防出初式についてですが、1月9日に谷保第三公園において2年振りに開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国立第三中学校による楽曲演奏を中止し、自主防災組織などの参加を見送ることとなりましたが、市議会議員の皆様や元消防団員を始め、多くのご来賓の方々にご臨席賜り、盛大に開催することができました。

ご協力、ご参加をいただきました皆様に感謝申し上げます。

次に、健康福祉部関係です。

住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変者に対して1世帯当たり10万円の給付金を給付する事業についてですが、1月18日にコールセンターを開設し、2月4日に対象となる8,366世帯に確認書を送付いたしました。また、2月10日からは家計急変者等の申請受付を開始しております。

対象となる方に対し、迅速に支給できるよう事務を進めてまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

くにたち子ども応援事業の実施についてですが、これまでに2回実施してきた「くにたちひとこえプロジェクト」の対象者を拡大してごはんチケットの提供を行い、支援に繋がるきっかけを作るとともに、地域の子どもや子育て世帯の課題に関する実態調査を兼ねて、11月1日から受付を開始し、12月1日から3月31日までを利用期間として実施しております。2月14日現在で328世帯からのお申し込みがあり、978人に配布しました。

今後、アンケート調査を通じて得られた、地域の子どもや子育て世代が抱える課題の解決に向け、地域と共同する仕組み、(仮称)子ども協議会を構築し、地域全体で子どもを見守り、健全な育成を支援することができる環境づくりについて検討してまいります。

次に、第4回くにたち子どもサミットの開催についてですが、12月19日に「くにたち人権月間2021」関連イベントとして、「子どもの権利条約「差別の禁止」ってなに？」をテーマに開催しました。

当日は、小学校1年生から6年生まで14名のご参加をいただ

きました。3つのグループに分かれて、身の回りで感じる差別について、「何故差別は起こるのか」「差別を起こさないためにどうしたらよいと考えるか」などについて、職員のファシリテートのもと、子どもたち同士で意見交換を行い、グループごとに発表を行いました。

今回の意見や考え方等も参考に、(仮称)子ども基本条例の制定に向けて検討を重ねてまいります。

次に、「子どもの居場所@くにたち クイズWALKラリー2」についてですが、新型コロナウイルス感染症により様々な行動制限を受ける子どもたちに、楽しく元気に市内を広く動き回ってもらうことなどを目的として、公園や市の公共施設を始めとする市内施設や子ども食堂など55箇所を巡るクイズWALKラリーを、12月13日から1月11日にかけて実施いたしました。

今回は市内3か所の児童館を中心としてエリアを分割し、44名の児童と16名の保護者、計60名にご参加いただきました。子どもたちからは、「回る場所が色々とばらけていたから楽しかった」、「体験事業が楽しみ」といった声をいただきました。

今後、ラリー参加者を対象とした体験事業を実施する予定

です。

次に、「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金支給事業」についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取組の一つとして、高校3年生相当までの児童を養育している子育て世帯へ、児童手当の所得制限限度額に相当する世帯を除き、児童一人当たり10万円を給付いたしました。2月15日現在、4,539世帯に対して7億3,980万円の給付が完了いたしております。

なお、本給付金については、離婚等の理由により国の制度の対象とならない世帯についても、市独自の取組として対象を拡大して対応しております。

次に、生活環境部関係です。

キャッシュレス決済事業の実施についてですが、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内中小事業者への支援及び「新しい生活様式」のひとつであるキャッシュレス決済の普及を図るため、1月5日から1月31日までの期間にキャッシュレス決済サービス「PayPay」を使用して市内対象店舗で支払いをした方を対象に最大25%分のポイントの付与を行いました。キャンペーン期間中、総額約1億7千万円の

決済が行われました。

次に、国立市中小企業等経営支援金についてですが、第4期として9月16日から12月15日までに受付をした「事業継続支援金」は、累計119件、1,190万円の給付を行いました。

次に、都市整備部関係です。

特定生産緑地についてですが、令和2年度（2020年度）より指定申請の受付を行い、令和3年（2021年）11月開催の都市計画審議会へ諮問し、答申を受けましたので、令和4年（2022年）1月1日に指定の告示を行いました。対象農地に対し約93%の農地を特定生産緑地に指定することができました。

次に、くにたちケイパビリティ・シンポジウムについてですが、一橋大学との共催で1月19日に開催しました。同大学との共同研究として行っている外出に関するアンケート調査の中間報告会や交通等の専門家を招いてのパネルディスカッションを行いました。市からは竹内副市長がパネリストとして参加し、オンライン参加者を含め約40名にご参加いただきました。

今後、移動に困難や不便を抱えている方への支援に繋げて

まいります。

次に、旧国立駅舎の東西広場等整備事業についてですが、11月に実施した市民アンケートなどを参考に、用地交換後の旧国立駅舎に隣接する東西の土地及び円形公園の整備に向けての基本的な方向性を示した「旧国立駅舎東西広場等整備基本方針（素案）」を作成いたしました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の建設環境委員会に報告させていただきます。

次に、国立駅南口子育て支援施設整備方針についてですが、令和3年第4回定例会にて報告いたしました整備方針案に関するパブリックコメントを1月5日から26日にかけて実施いたしました。いただいたご意見を踏まえて庁内で検討を進め、整備方針として策定いたしました。

今後はこの整備方針を基に、子育て支援施設の基本設計を進めてまいります。

次に、地元の農産物を直売する「くにたちマルシェ」の開催についてですが、11月から12月にかけて、毎週土曜日に国立駅北口駅前広場で、また、毎週火曜日に市役所西側広場で

開催いたしました。会場には多品目の農産物が並び、多くの方々がご来場されました。今後も「くにたち野菜」のPR及び農業者と市民との交流を促進するため、定期的を開催してまいります。

次に、教育委員会関係です。

成人式についてですが、二部制の導入、開催時間の短縮など新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底する中で1月10日にくにたち市民総合体育館で実施し、新成人対象のおよそ57.6%、491名にご参加いただきました。

終わりに、本定例会には、令和4年度国立市一般会計予算案等20議案を提出させていただいておりますが、生活保護費の返還金の督促処分に係る審査請求に関する諮問につきましては、準備が整い次第追加議案として提出させていただきます。

また、「国立市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例案」につきましては、地方税法等の一部を改正する法律が公布され次第追加議案として提出させていただきます。

さらに、国立市教育委員会委員任命の同意についての人事案件等4件の人事案件につきましては準備が整い次第追加提出さ

せていただきます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告と
いたします。

令和4年（2022年）2月24日

国立市長 永見 理夫